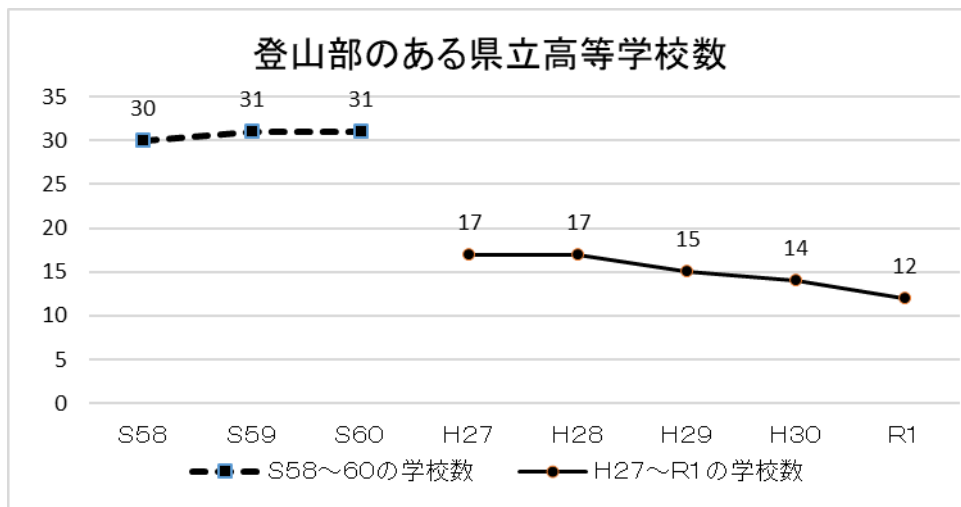


1 県立高校における登山部のある学校の数（休部は含まず）（図 1）

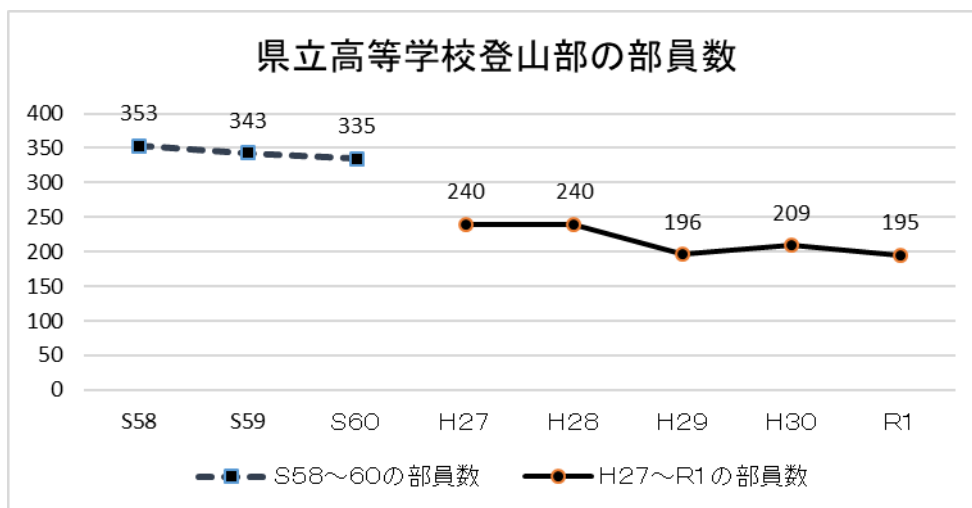


S 58~60：県高体連登山部「登山部報」創刊～第 3 号（1984～986）より

H27～R 1：アンケート結果より

- ・昭和 60 年から令和元年までの 34 年間で 19 校の登山部がなくなっている。4 割弱しか残っていない。
- ・平成 27 年から令和元年までの 5 年間で 5 校（廃部 3 校、休部 2 校）がなくなっている。直近の 5 年間の減少率は 34 年間の減少率よりも高い。

2 県立高校における登山部の部員数（図 2）

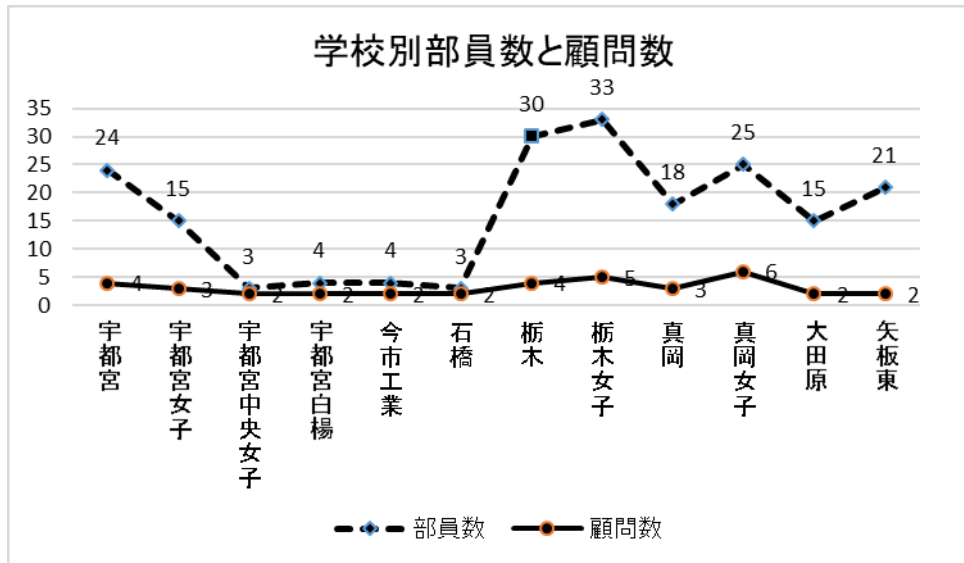


S 58~60：県高体連登山部「登山部報」創刊～第 3 号（1984～986）より

H27～R 1：アンケート結果より

- ・昭和 58 年から令和元年までの 36 年間で部員は 158 人減っている。5 割程度に減ってしまった。
- ・平成 27 年から令和元年までの 5 年間では 45 人減っている。直近の 5 年間の減少率は 36 年間の減少率よりも高い。

3 令和元年の学校別部員数と顧問数（図3）アンケート結果より



・部員 33 人に顧問 5 人配置の学校から部員 3 人に顧問 2 人配置の学校まであり、かなり差がある。

4 現在廃部、休部、募集中止の部員数の変化とその理由

(1) 廃部 (3 校) [H27 H28 H29 H30 R1 廃部、休部、募集中止の理由]

- ・宇都宮工業 4 → 13 → 休 → 廃 ・部員がいなくなったため廃部
- ・足利 6 → 8 → 6 → 3 → 廃 ・部員がいなくなり部活再編成ため廃部
- ・足利工業 9 → 15 → 8 → 9 → 廃 ・クラス減で部活動の統廃合のため廃部

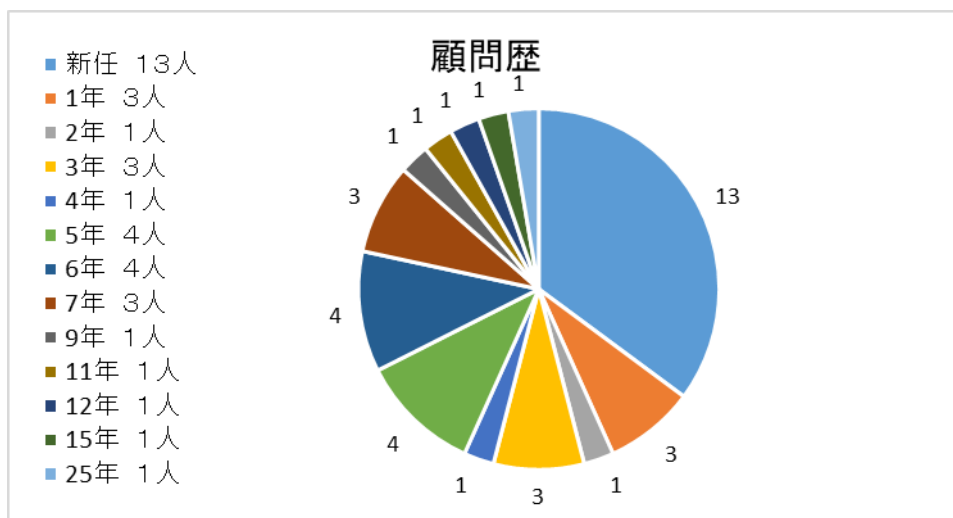
(2) 休部 (2 校)

- ・日光名峰 0 → 0 → 休 ・平成 29 年から休部のため募集中止
- ・那須清峰 8 → 7 → 6 → 休 ・人数確保が難しく休部のため募集中止

(3) 令和元年募集中止 (1 校)

- ・石橋 17 → 10 → 9 → 7 → 3 ・3 年生が卒業で活動ができなくなる募集中止

5 令和元年の顧問 (総数 37 人) の顧問歴 (図4) アンケート結果より



- ・新任は 13 人で全体の 35% を占める。5 年以下は 21 人 (57%) で、6 年以下は 25 人 (68%) になる。県教委が一人での引率可能とする条件 (5 年以上の経験) に当てはまる顧問は 16 人しかいない。
- ・6 年以上となると 12 人で、登山部 12 校に 1 名配置がやっとである。